

# 新幹線プレス

2019年9月1日

No.434

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 自由席改札の強要を許すな！ 恫喝的言動は直ちにやめろ！

現在、新幹線各運輸所では8月30日から自由席改札の実績状況調査を行っています。東京第二運輸所の8月19日付営業第70号「自由席改札の実績状況調査について」の掲示によれば、目的は「車内業務見直しから1年以上経過し施策の定着状況を把握して、**車内業務の検証を行うため自由席改札の調査**を行います。」というものです。調査期間は、8月30日～9月13日までとしています。

しかし、あくまでも状況調査であるにもかかわらず、東京第二運輸所では、退出点呼で管理者から「なぜ改札が出来なかったのか」「理由を記載しているのにさらに詳しい理由を書きなさい」と強い口調で言われています。さらに、営業科要件で呼ばれ自由席が未改札の場合の理由を執拗に問い詰めたり、なぜ出来ないのか恫喝的な言動も見られ、何が何でも自由席改札をやるよう強要しています。

このようなことを繰り返せば、列車監視不履行やドア開扉遅れなど重大な運転事故を起こす恐れすらあります。

このような車内業務の検証という目的から逸脱した自由席改札の実績状況調査は直ちに止めるべきです。

**車内業務の見直しの時に、自由席改札は「出来る範囲で」といったことは、どこへ行ったのでしょうか。**

**JR東海労は、自由席改札の強要に反対して闘います。共に声を上げましょう！**